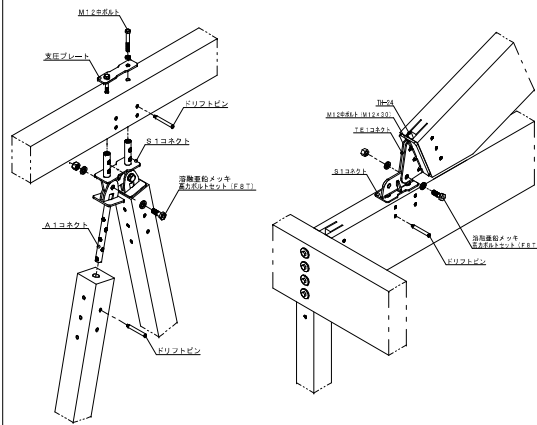
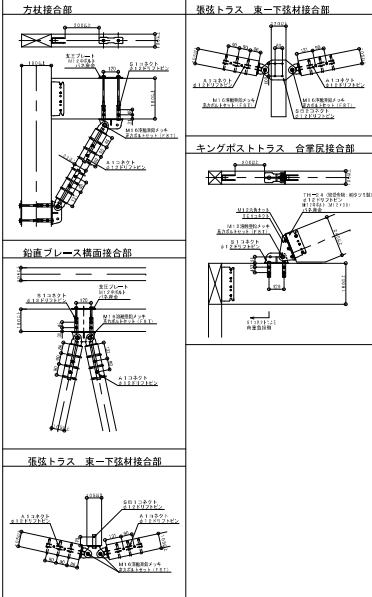


# テックワンP3 プラス接合システム 標準図

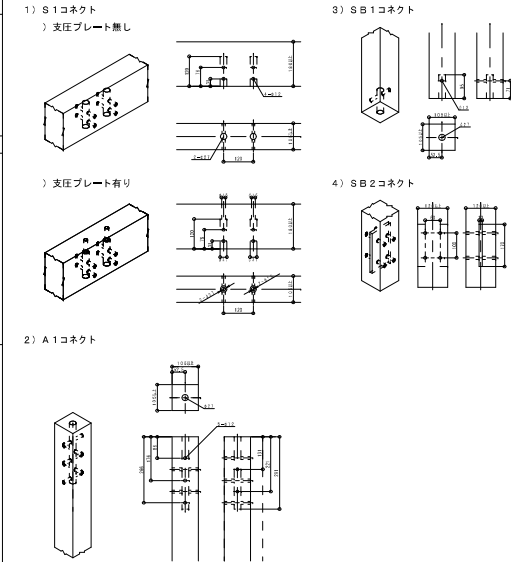
## 1. 接合部の構成例



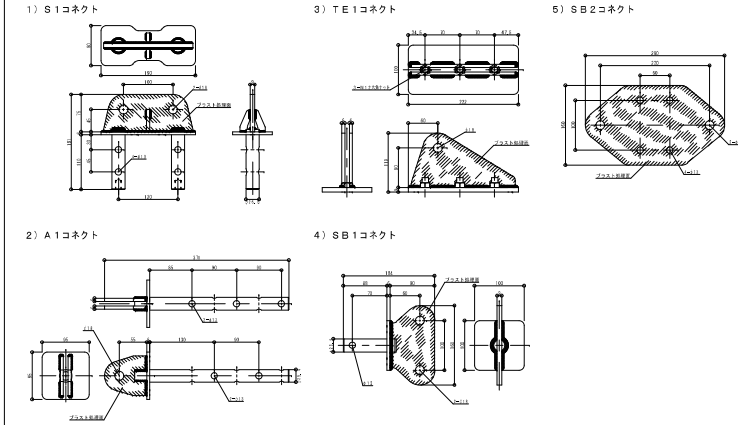
## 2. 金物納まり例



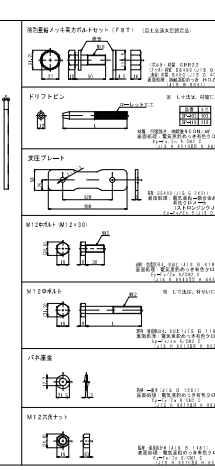
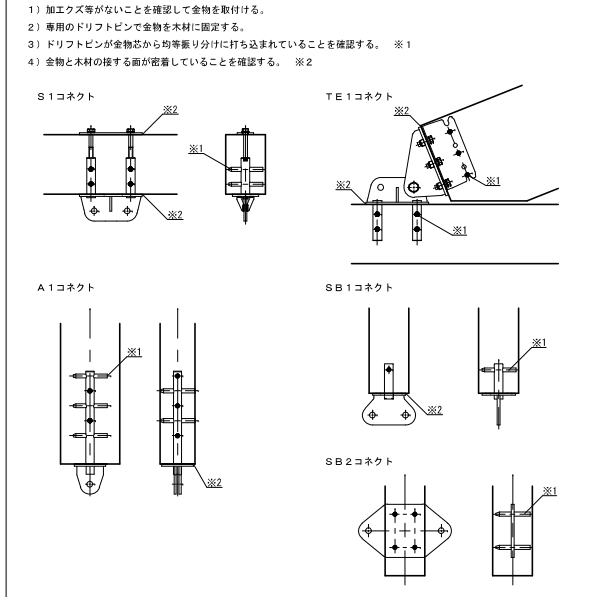
## 4. 加工詳細



## 3. 金物図



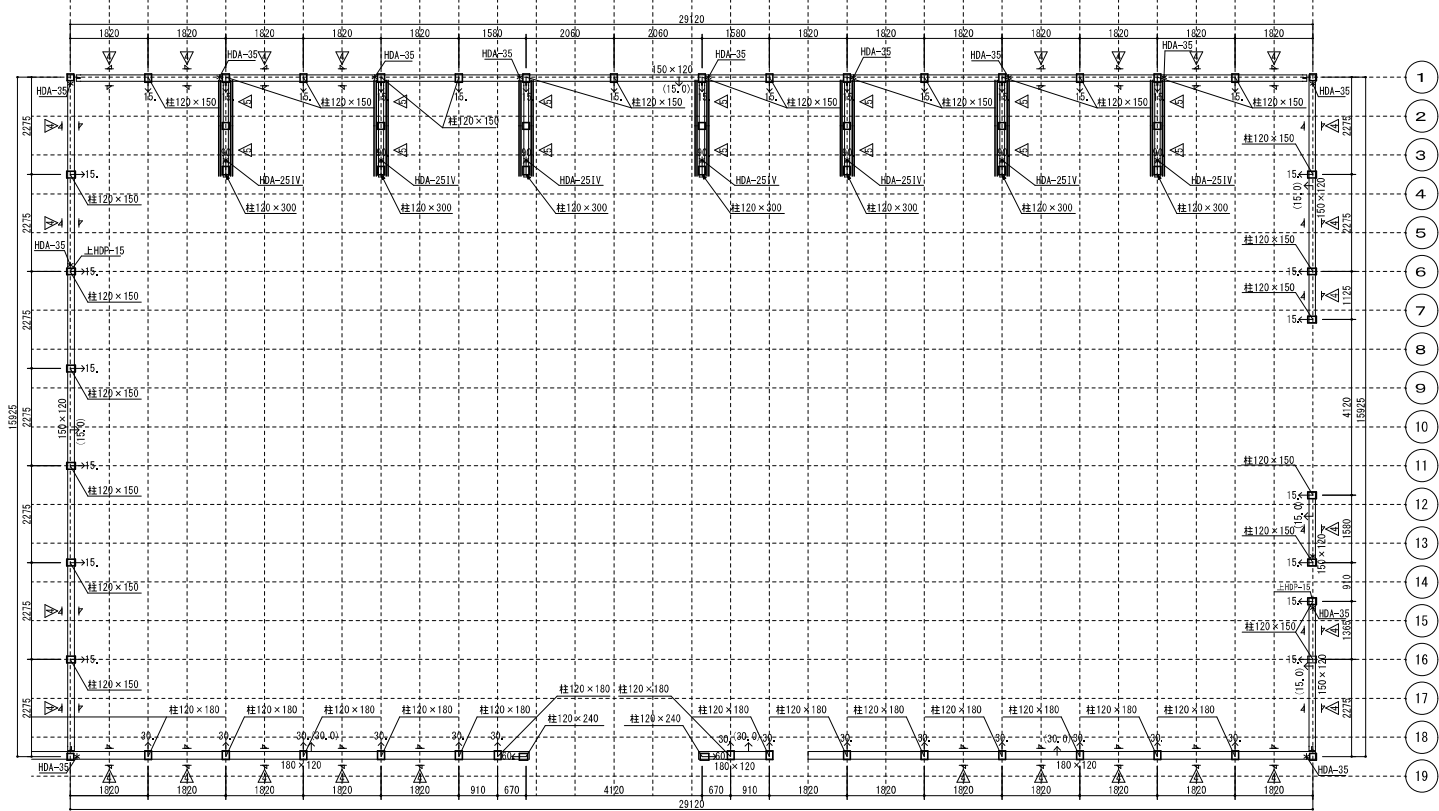
## 5. 金物取付



## 5. 施工及び管理

- 高力ボルトの締め付けは、株式会社タミシ（または同社が認める者）の閉鎖する施工技術講習会を修了した者（技術者）、または技術者から施工要領の説明を受けた者（技能者）が行う。
  - 高力ボルトのねじ山等に異常がないかを確認する。
  - プラスチックに油や汚れの付着がないかを確認し、あった場合は脱脂材等で適切に除去する。
  - ボルト底下、ナット下のそれぞれに座金を1枚ずつ敷く。ナットは表示記号のある側を表とし、座金は内側面取り部分が表となるようにする。
- 全箇所で見込みを行い、部材の密着を確認する。
  - 全箇所でもトルクレンチにてトルク値100N・mで1次締めをする。その後、ボルト・ナット・座金・金物本体にかけてマーキングを行う。
- 全箇所のマーキング作業終了後、本締めを行う。ナットの回転量はマーキングを基準として120°±30°とする。
  - 全箇所のボルトにてマーキングを基準にしたナット回転量について目視検査を行う。
    - ナット回転量が90°～150°の範囲は合格とする。
    - ナット回転量が90°未満のものは追締めを行う。
    - ナット回転量が150°を超えたものはボルトセットを取り換える。
    - 共回りまたはボルトセットは取り換える。
    - 一度使用した高力ボルトは再使用してはならない。
- 締め付け回転量120°（ナット角、二山分）  
 回転量不足 追締め  
 回転量過多 ボルトセット交換  
 共回りした場合はボルトと座金・金物のマーキングがずれる  
 回転許容範囲（90°～150°）
- 技術者は施工完了後、全箇所の高力ボルトが適切に施工されていることを確認し、施工管理チェックシートを株式会社タミシに提出する。

に し け ま や く お の か う む ら な ね つ そ れ た よ か わ を る め り ち と へ ほ に は る し



土台伏図 1:120

凡例	
	土台 特記無き材 120×120 (松KD材 甲種二級相当)
	土台 150×120・180×120 (松KD材 甲種二級相当)
	管柱 特記無き材 120×120 (赤松集成材 E95-F315) ※矢印と数値は矢張り方向と量を示す
	小径架 特記無き材 120×120 (赤松集成材 E95-F315)
	下柱
	鋼ち柱
	(梁成) 梁・桁 特記無き材 120×120 (赤松集成材 E95-F315) (一部 赤松集成材 E105-F300使用)
	120×(梁成) 母屋・棟木 120×120 (榎 赤松集成材 E105-F300) (高徳差) (一部 120×180 赤松集成材 E105-F300)
	梁成105~150 TH-10 短期許容せん断耐力: 8.0kN
	梁成180~210 TH-18 短期許容せん断耐力: 24.3kN
	梁成240~300 TH-24 短期許容せん断耐力: 34.9kN
	梁成330~420 TH-33 短期許容せん断耐力: 41.5kN
	梁成450~480 TH-33+TH-10 短期許容せん断耐力: 46.0kN
	梁成510~540 TH-33+TH-18 短期許容せん断耐力: 59.8kN
	梁成570~630 TH-33+TH-24 短期許容せん断耐力: 65.7kN
	梁成660~ TH-33+TH-33 短期許容せん断耐力: 75.0kN
	GP-95 短期許容引張耐力: 9.2kN 告示平12種各1460号(表)相当
	HDP-10 短期許容引張耐力: 10.6kN 告示平12種各1460号(表)相当
	HDP-15 短期許容引張耐力: 16.9kN ※上: 柱頭を示す
	HDP-20 短期許容引張耐力: 23.2kN 告示平12種各1460号(表)相当
	HMP-140 短期許容引張耐力: 12.4kN 告示平12種各1460号(表)相当 ※梁成210で使用の場合 短期許容引張耐力: 9.2kN 告示平12種各1460号(表)相当
	HMP-260 短期許容引張耐力: 19.2kN 告示平12種各1460号(表)相当
	HDA-35 短期許容引張耐力: 35.4kN ホルダワン金物

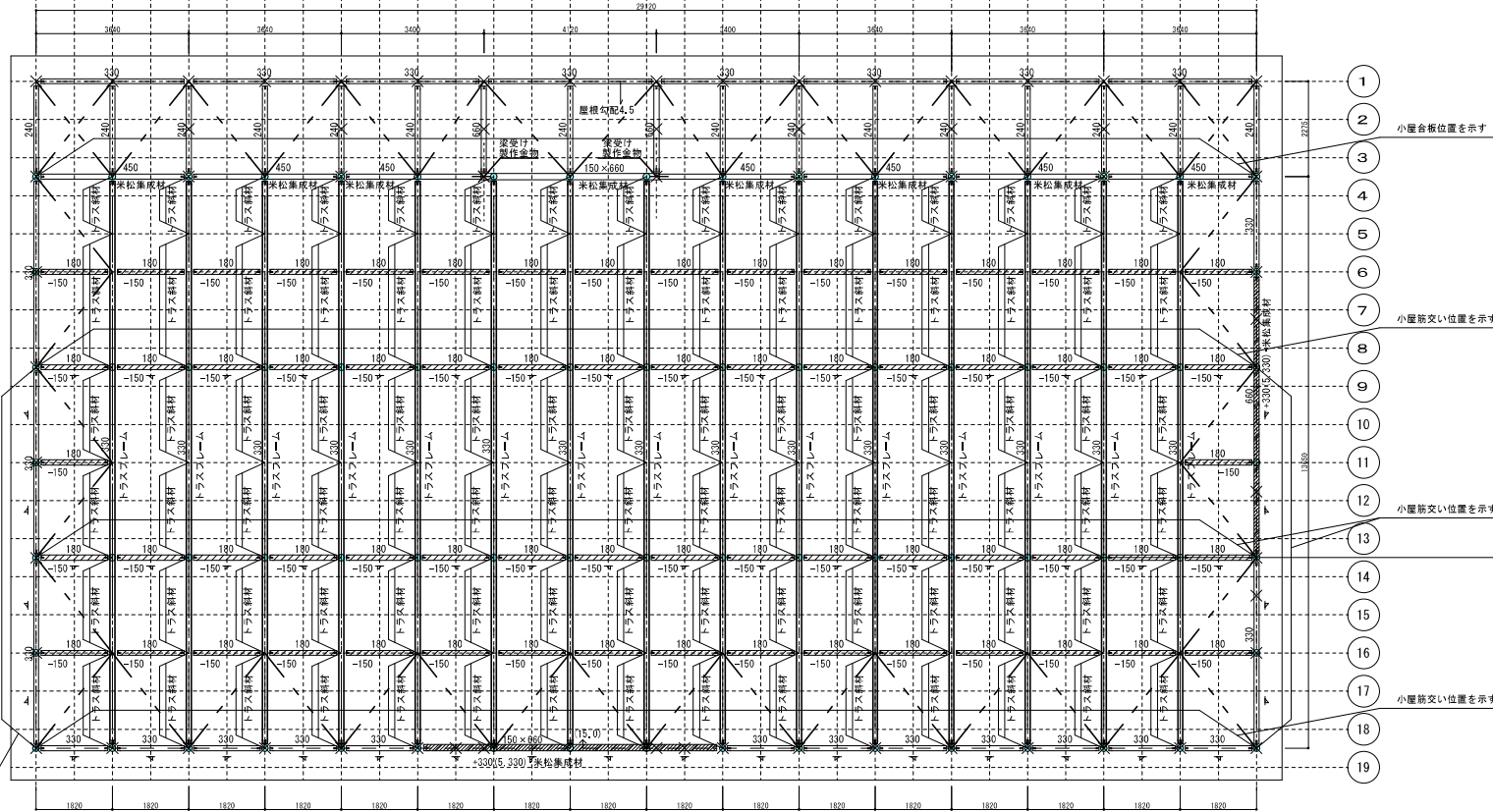
※上記金物・金物取組  
※特記無き柱頭柱脚金物 GP-95

耐力壁凡例	
	ダブル筋かい 45×90 壁倍率4.0倍 ※プaster-2(両部製)
	JAS構造用合板t9 両面 壁倍率5.0倍 (N50@150以下釘打ち 床合板負け) ※真壁合板受材30×40以上 (N75@150以下釘打ち)

特記なき限り下記に依る

- ※ 梁・柱のサイズ、榎種及び金物等の要は同率以上の許容耐力を有する物のみとし、必ず構造設計者の承認を得る事
- ※ 土台・柱・壁等に地面から1.0mまで防蟻・防蟻措置を行うこと
- ※ 特記なき土台天端は、設計GL+102とする
- ※ 梁貫通は原則打けないこと
- やむを得ず打ける場合は、監理者及び構造設計者に確認すること
- ※ 間柱 120×30 E455 KD材
- ※ 間柱 120×45 E910 KD材
- ※ 耐力壁に小開口(径50cm程度)をあける場合は、補強材(30×60以上)で補強し、釘の増し打ちを行う事

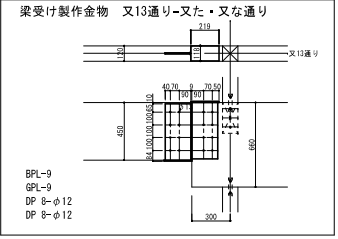
いふけまやくおの井うむらなねつそれたよかわをるぬりちとへほにはるい



小屋伏図 1:120

小屋筋交い位置を示す

- 1 小屋合板位置を示す
- 2
- 3
- 4
- 5
- 6
- 7 小屋筋交い位置を示す
- 8
- 9
- 10
- 11
- 12 小屋筋交い位置を示す
- 13
- 14
- 15
- 16
- 17 小屋筋交い位置を示す
- 18
- 19

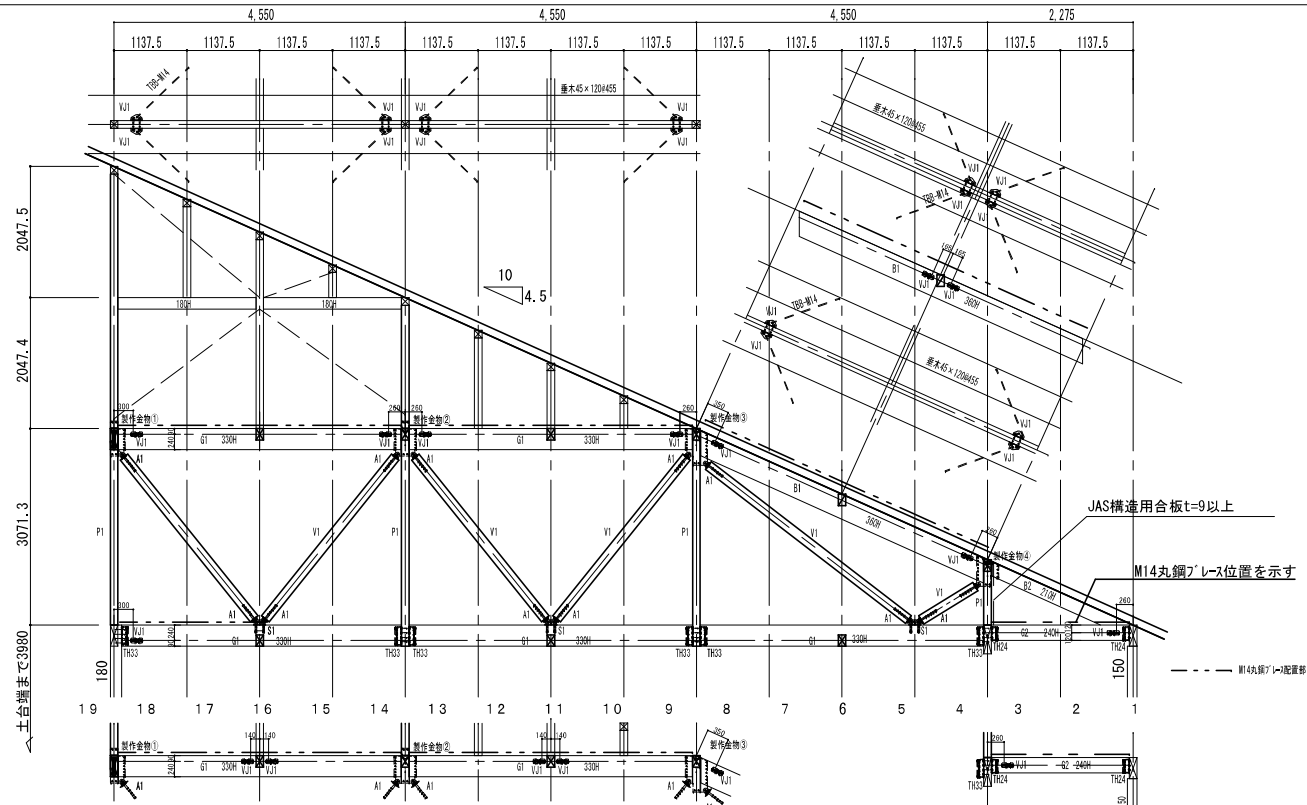


凡例	
	土台 特記無き材 120×120 (松KD材 甲種二級相当)
	土台 150×120・180×120 (松KD材 甲種二級相当)
	管柱 特記無き材 120×120 (赤松集成材 E105-F300) ※天頭と数値はなすし方向と量を示す
	小屋束 特記無き材 120×120 (赤松集成材 E30-F315)
	下柱 特記無き材 120×120 勝ち柱
	(梁成) 梁・桁 特記無き材 120×120 (特記無き樹種 赤松集成材 E105-F300 (組種) 一部 米松集成材 E120-F330使用)
	120×(梁成) 母屋・横木 120×120 (樹種 赤松集成材 E105-F300) (高低差) 一部 120×180 赤松集成材 E105-F300
	梁成105~150 TH-10 短期許容せん断耐力: 8.0kN
	梁成180~210 TH-18 短期許容せん断耐力: 24.3kN
	梁成240~300 TH-24 短期許容せん断耐力: 34.9kN
	梁成330~420 TH-33 短期許容せん断耐力: 41.5kN
	梁成450~480 TH-33+TH-10 短期許容せん断耐力: 46.0kN
	梁成510~540 TH-33+TH-18 短期許容せん断耐力: 59.8kN
	梁成570~630 TH-33+TH-24 短期許容せん断耐力: 65.7kN
	梁成660~ TH-33+TH-33 短期許容せん断耐力: 75.0kN
	GP-95 短期許容引張耐力: 9.2kN 告示平12種告1460号(注)相当
	HDP-10 短期許容引張耐力: 10.6kN 告示平12種告1460号(注)相当
	HDP-15 短期許容引張耐力: 15.9kN 告示平12種告1460号(注)相当 ※上: 柱頭を示す
	HDP-20 短期許容引張耐力: 23.2kN 告示平12種告1460号(注)相当
	HMP-140 短期許容引張耐力: 12.4kN 告示平12種告1460号(注)相当 ※梁成210°使用の場合 短期許容引張耐力: 9.2kN 告示平12種告1460号(注)相当
	HMP-260 短期許容引張耐力: 10.2kN 告示平12種告1460号(注)相当
	HDA-35 短期許容引張耐力: 35.4kN ホルダワン金物
※上記金物: 金物図参照	
※特記無き柱頭柱脚金物: GP-95	

特記なき限り下記に依る

- ※ 梁・柱のサイズ、樹種及び金物等の変更は同等以上の許容耐力を有する物のみとし、必ず構造設計者の承認を得る事
- ※ 梁天頭は特記なき限り軒高±0
- ※ ( )内数値は、軒高いより、梁天頭い#を示す
- ※ 梁貫通は原則設けないこと
- ※ やむを得ず設ける場合は、監理者及び構造設計者に確認すること
- ※ 間柱 120×30 #455 KD材
- ※ 間柱 120×45 #910 KD材
- ※ --- M14 丸頭ブレース

トラス図

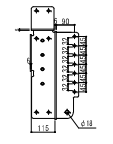


使用部材

B1	120 × 360	赤松集成材	E105-F300	異等級構成集成材
B2	120 × 210	赤松集成材	E105-F300	異等級構成集成材
G1	120 × 330	赤松集成材	E105-F300	異等級構成集成材
G2	120 × 240	赤松集成材	E105-F300	異等級構成集成材
V1	120 × 150	赤松集成材	E105-F300	異等級構成集成材
P1	120 × 120	赤松集成材	E95-F315	同一等級構成集成材
TH33	テックワンP3			
TH24	テックワンP3			
A1	テックワンP3+ A1コネク			
S1	テックワンP3+ S1コネク			
VJ1	テックワンP3+ VJ1コネク			

製作金物① 特記無きPLはSS400とする

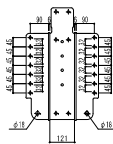
- GPL-9  
(4行処理) 1137.5 (5x100μm)
- BPL-6
- BT 4-φ12
- BT 1-φ16
- DP 2-φ12
- DP 4-φ12
- DP 7-φ12



A1取付部分ブレス処理100μmRZ ※特記なきφ13  
表面処理: 電気亜鉛-鉄合金のつき

製作金物② 特記無きPLはSS400とする

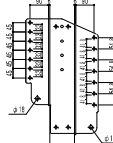
- GPL-9  
(4行処理) 1137.5 (5x100μm)
- BPL-6
- BT 4-φ12
- BT 1-φ16
- BT 1-φ16
- DP 6-φ12
- DP 7-φ12
- DP 7-φ12



A1取付部分ブレス処理100μmRZ ※特記なきφ13  
表面処理: 電気亜鉛-鉄合金のつき

製作金物③ 特記無きPLはSS400とする

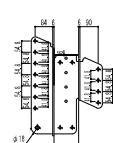
- GPL-9  
(4行処理) 1137.5 (5x100μm)
- BPL-6
- BT 4-φ12
- BT 1-φ16
- BT 1-φ16
- DP 4-φ12
- DP 7-φ12
- DP 7-φ12



A1取付部分ブレス処理100μmRZ ※特記なきφ13  
表面処理: 電気亜鉛-鉄合金のつき

製作金物④ 特記無きPLはSS400とする

- GPL-9  
(4行処理) 1137.5 (5x100μm)
- BPL-6
- BT 4-φ12
- BT 1-φ16
- DP 4-φ12
- DP 7-φ12
- DP 4-φ12



A1取付部分ブレス処理100μmRZ ※特記なきφ13  
表面処理: 電気亜鉛-鉄合金のつき